

長崎北病院 伝言板 6月号

令和3年6月1日発行

6月。別名は水無月（みなづき）。「無」は「の」を意味しますので「水の月」です。今年5月15日にすでに梅雨入り。長い梅雨になりそうです。十分にしてお過ごしになり、適度に降ってくれば良いのですが。何事も適当が大事です。



ワクチン狂想曲♪

例年より20日も早く梅雨入り。2か月も雨か!と思いましたが、今のところは晴れの日も多く大過なし。これから梅雨末期にかけて大雨が降らないことを祈ります。

コロナの第4波も少し落ち着いてきたようですが、まだまだ油断はできません。これからはワクチン。接種が進んでいるイギリスやイスラエルでは患者が激減。通常の生活に戻りつつあります。日本はまだワクチン後進国。集団接種だの個別接種だのワクチン捨てただのまるでワクチン狂想曲状態。毎日騒ぐ割には進んでいない印象です。

アメリカなどではワクチンを接種したら「一億円が当たる」「賞品も出るよ」と勧誘。駅や野球場でも予約なしで接種しています。とにかく早く進めたいという意欲を感じます。これはさすがにやりすぎかと思いますが、日本は少し厳しすぎ。計画過剰、きちんとやろうとし過ぎなように感じます。日本ではワクチンの供給は自治体ごとです。接種方法も自治体によってバラバラです。この自治体ごとの線引き、縦割りでも不利益が生じています。長崎市ではかかりつけの病院での接種が基本です。そして当院の患者さん



の半分以上は長崎市の患者さんです。しかし当院は時津町にありますので長崎市の患者さんは、当院では接種できません。当院で接種したくても行政の壁でできないのです。自治体ごとの違いもスムーズな接種の足かせとなります。最近の報道では「ワクチンを捨てた」「対象外に接種した」などと病院などが叩かれています。でもファイザーのワクチンは1バイアル6人分。6人揃わないと無駄が出ます。余った時どうするの? 当院でも余った(当日キャンセルなど)ワクチンを打つために対象者に電話をかけまくって探したりしました。捨てれば新聞沙汰! 近くにいる人に接種しても問題。ストレスです!! 余らせないように接種計画は予約制となり、控えめになります。



今はとにかく多くの方がワクチンを受けることが重要です。そうすればコロナにかからない、病院もコロナ患者が減って通常診療に戻れる。保健所や行政も楽になる。生活は元に戻れる。得られるものを考えれば、とにかく進めるべきです。そのためには集中と柔軟、融通、そして「たかがワクチン」です。まずはふんだんに供給です。充分にあればもっと事は簡単、気楽にできます。病院や自治体で融通もできますしどこでもできます。インフルエンザのように1バイアルが1-2人分であれば無駄が出ません。今回は「バイアル瓶」の製造が間に合わなかったようで6人分入りになったようです。6人分なので6人揃わないと余りが出ます。毎日予備の人を準備したり代わりを探し回ったりは疲れます。余ったら近くの人に接種OK。どうしてもの時、時間切れなら捨ててもしょうがないくらいおおらかに。大切なワクチンですが「たかがワクチン」。あまり過敏にならないこともスムーズな接種に必要な気がします。柔軟と融通です。今後も出来る限り自治体と協力、交渉しながらスムーズに気楽に? ワクチン接種が進むように努力したいと思います。(A.S.)

